

2024年の北陸地方の天候経過

ー北陸地方の天候の特徴と気象トピックスー

- ◆ 2024年は暖かい空気に覆われ気温の高い状態が続き、2023年に次ぐ記録的な暑さ・暖かさ
- ◆ 冬(2023年12月～2024年2月)は、2020年冬に次ぐ記録的な暖冬 多照 少雪
- ◆ 春(3月～5月)は、4月が記録的な高温となり 高温
- ◆ 夏(6月～8月)は、かなりの高温。梅雨入りはかなり遅く、梅雨明けは遅く、梅雨の時期(6・7月)は多雨
- ◆ 秋(9月～11月)は、残暑厳しく、2年連続の記録的な高温、前線や低気圧の影響も受けやすく、かなりの多雨
- ◆ 12月は、冬型の気圧配置が続き、寒気の影響受けやすく低温・かなりの寡照・かなりの多雨
- ◆ 2023年の春から続いたエルニーニョ現象は2024年春に終息

※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)ごとの平年差(比)を平均したものです

☆冬(2023年12月～2024年2月)

12 月後半に強い寒気の影響を受けた時期があったが、冬型の気圧配置は長続きせず、1 月を中心として晴れた日が多く、2020 年冬に次ぐ記録的な暖冬となり少雪となった。

表：3 か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間・降雪量の平年差(比)と階級

北陸地方平均	1 2 ～ 2 月	1 2 月	1 月	2 月
平均気温平年差	+ 1.4℃	+ 0.8℃	+ 1.4℃	+ 2.0℃
階級	かなり高い	高い	かなり高い	かなり高い
降水量平年比	113 %	126 %	102 %	102 %
階級	多い	多い	平年並	平年並
日照時間平年比	112 %	114 %	125 %	102 %
階級	多い	平年並	多い	平年並
降雪量平年比	58 %	194 %	51 %	6 %
階級	少ない	多い	少ない	かなり少ない

☆春(3月～5月)

天気は数日の周期で変化したが、3月は低気圧や前線、通過後の寒気の影響を受けることが多く、4月の中旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多く、また、暖かい空気に覆われやすく、5月の下旬後半は低気圧や前線の影響が続いた。

表：3 か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

北陸地方平均	3 ～ 5 月	3 月	4 月	5 月
平均気温平年差	+ 0.8℃	- 0.1℃	+ 2.3℃	+ 0.3℃
階級	高い	平年並	かなり高い	平年並
降水量平年比	130 %	145 %	101 %	142 %
階級	多い	かなり多い	平年並	多い
日照時間平年比	101 %	88 %	108 %	103 %
階級	平年並	少ない	多い	平年並

☆夏(6月～8月)

地球温暖化等による大気の全球的なかなりの高温により、暖かい空気の影響を受けた。梅雨前線の北上が遅く梅雨入りはかなり遅く、6月は高気圧に覆われることが多くなりかなりの多照、梅雨明けは遅く、7月は梅雨前線や湿った空気の影響を受けやすく多雨、8月はたびたび台風の影響を受けたが、まとまった降水とはならなかった。

表：3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

北陸地方平均	6～8月	6月	7月	8月
平均気温平年差	+ 1.6℃	+ 1.5℃	+ 1.8℃	+ 1.5℃
階級	かなり高い	かなり高い	かなり高い	高い
降水量平年比	94 %	87 %	137 %	41 %
階級	平年並	平年並	多い	少ない
日照時間平年比	109 %	135 %	92 %	103 %
階級	多い	かなり多い	平年並	平年並

表：梅雨入り・明けと梅雨の時期の降水量

地方名	梅雨入り		梅雨明け		梅 雨 の 時 期 の 降 水 量 平 年 比 (注2)
	今 年 (注1)	(平年)	今 年 (注1)	(平年)	
北陸	6月22日ごろ (+)* (6月11日ごろ)		7月31日ごろ (+) (7月23日ごろ)		117% (+)

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)*：かなり遅い、(+): 遅い、(0)：平年並、(-)：早い、(-)*：かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)の観測値を用い、梅雨の時期(6～7月)の平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)*：かなり多い、(+): 多い、(0)：平年並、(-)：少ない、(-)*：かなり少ない、の階級区分を表す。

☆秋(9月～11月)

9月・10月中心に偏西風が平年に比べ北に偏って流れた。9月は太平洋高気圧の張り出しが強く残暑厳しく、10月は寒気が日本に南下しにくく、共に月の平均気温は1946年の統計開始以降1位の記録的な高温となった。11月は寒気の影響が弱く、高気圧に覆われることが多く高温・多照となり、秋としても1946年の統計開始以降、1位の記録的な高温となった2023年秋の平均気温を更新した。

一方、秋雨前線の影響を受けた時期には記録的な大雨が発生するところがあるなど、前線や低気圧の影響も受けやすく、かなりの多雨となった。

表：3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

北陸地方平均	9～11月	9月	10月	11月
平均気温平年差	+ 2.1℃	+ 3.2℃	+ 2.1℃	+ 0.9℃
階級	かなり高い	かなり高い	かなり高い	高い
降水量平年比	128 %	127 %	128 %	133 %
階級	かなり多い	多い	多い	かなり多い
日照時間平年比	107 %	115 %	94 %	113 %
階級	多い	多い	平年並	多い

★12月

冬型の気圧配置が続きやすく、曇りや雨の日が多く山沿いや山地中心に雪が降った。月の平均気温は低く、降水量はかなり多く、日照時間はかなり少なく、降雪量は少なかった。

表：12月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

北陸地方平均	平均気温平年差 階級	降水量平年比 階級	日照時間平年比 階級	降雪量平年比 階級
12月	-0.5℃ 低い	131% かなり多い	66% かなり少ない	27% 少ない

★年

3月と12月は寒気の影響が強かったものの、そのほかの時期は暖かい空気に覆われて気温の高い状態が続き、2023年に次ぐ記録的な暑さ・暖かさとなった。また、停滞前線の影響を受けた時期には大雨となる所があったなどかなりの多雨となった。

表：年の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

北陸地方平均	平均気温平年差 階級	降水量平年比 階級	日照時間平年比 階級
年	1.4℃ かなり高い	116% かなり多い	105% 多い

表1 2024年 北陸地方気候表

地名		平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比) 階級			降水日数 ≥1mm		日照時間(平年比) 階級		
		(℃)	(℃)		(mm)	(%)				(h)	(%)	
新 相 高	潟	15.2	(+1.3)	+*	2065.5	(112)	+	161		1629.6	(99)	○
	川	15.3	(+1.2)	+*	1897.5	(121)	+*	161		1658.1	(102)	○
	田	15.1	(+1.2)	+*	2947.5	(104)	○	185		1649.4	(104)	○
富 伏	山	15.9	(+1.4)	+*	2652.0	(112)	+	182		1725.2	(105)	+
	木	15.6	(+1.4)	+*	2601.5	(114)	+	172		1697.9	(103)	○
金 輪	沢	16.5	(+1.5)	+*	2780.0	(116)	+*	172		1801.8	(105)	+
	島	15.1	(+1.3)	+*	3024.0	(140)	+*	169		1653.4	(105)	+
福 敦	井	16.4	(+1.6)	+*	2675.5	(116)	+	170		1815.3	(110)	+*
	賀	17.1	(+1.5)	+*	2364.0	(107)	○	162		1723.2	(108)	+

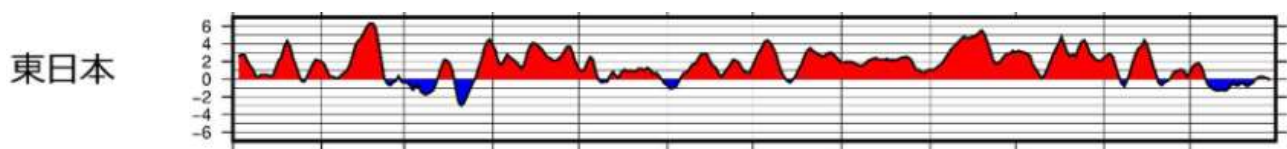


図1 東日本の平均気温平年差(5日移動平均 単位℃)

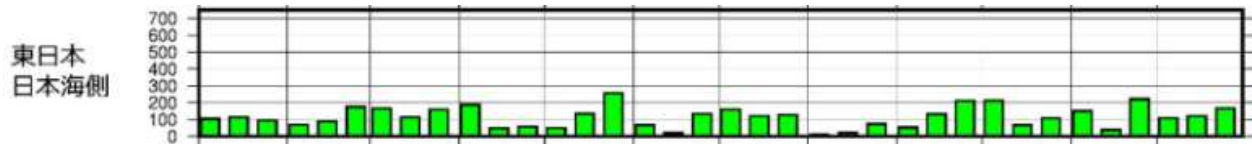


図2 北陸地方(東日本日本海側)の降水量平年比(旬別 単位%)

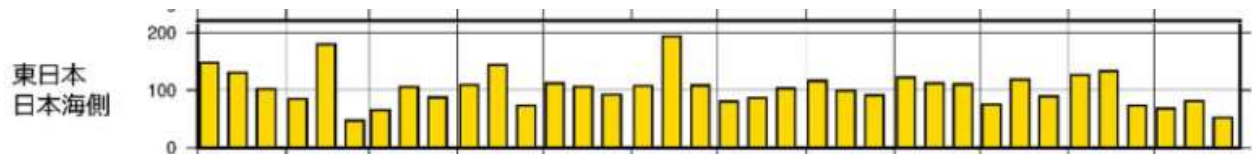


図3 北陸地方(東日本日本海側)の日照時間平年比(旬別 単位%)

表2 2024年の年別で順位を更新した記録(3位以内) 注) =はタイ記録を示す。

年平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
1	福井	16.4	+1.6	16.2 (2023)	1897	14.8
	敦賀	17.1	+1.5	16.9 (2023)	1897	15.6
2	輪島	15.1	+1.3	15.2 (2023)	1929	13.8
	相川	15.3	+1.2	15.7 (2023)	1911	14.1
	新潟	15.2	+1.3	15.4 (2023)	1881	13.9
	金沢	16.5	+1.5	16.6 (2023)	1882	15.0
	伏木	15.6	+1.4	15.7 (2023)	1883	14.2
	富山	15.9	+1.4	16.1 (2023)	1939	14.5
	高田	15.1	+1.2	15.2 (2023)	1922	13.9

年降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	輪島	3024.0	140	3106.8 (1956)	1929	2162.3

※参考 2024年の真夏日・猛暑日・熱帯夜（日最低気温25度以上）の年間日数の更新（順位3位以内）

地点名	要素	順位	日数	統計開始
新潟	日最高気温 30℃以上年間日数	2	58	1881 年
相川	日最低気温 25℃以上年間日数	3	20=	1911 年
高田	日最高気温 30℃以上年間日数	2	69	1922 年
高田	日最低気温 25℃以上年間日数	3	11	1922 年
富山	日最高気温 30℃以上年間日数	2	82	1939 年
富山	日最低気温 25℃以上年間日数	2	34	1939 年
伏木	日最高気温 30℃以上年間日数	2	64	1887 年
伏木	日最低気温 25℃以上年間日数	1	42	1887 年
金沢	日最高気温 30℃以上年間日数	2	78	1882 年
金沢	日最低気温 25℃以上年間日数	1	52=	1882 年
輪島	日最高気温 30℃以上年間日数	2	54	1929 年
輪島	日最低気温 25℃以上年間日数	2	20	1929 年
福井	日最高気温 30℃以上年間日数	1	87=	1897 年
福井	日最低気温 25℃以上年間日数	1	46	1897 年
敦賀	日最高気温 35℃以上年間日数	3	17	1897 年
敦賀	日最高気温 30℃以上年間日数	3	75=	1897 年
敦賀	日最低気温 25℃以上年間日数	1	52=	1897 年

注) =はタイ記録を示す。

表 3 2024年の季節（3 か月）別で順位を更新した記録（3 位以内） 注) =はタイ記録を示す。

3 か月間の平均気温高い方からの順位更新

月	順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃（西暦年）	開始年	平年値 ℃
12-2	2	輪島	5.5 =	+1.3	6.0（2020）	1930	4.2
		金沢	6.4	+1.4	7.1（2020）	1882	5.0
		富山	5.6 =	+1.6	6.3（2020）	1939	4.0
		敦賀	7.3	+1.5	7.9（2020）	1898	5.8
	3	相川	6.2	+1.2	6.7（2020）	1912	5.0
		伏木	5.5	+1.6	6.2（2020）	1884	3.9
		福井	5.8	+1.5	6.6（2020）	1897	4.3
6-8	2	輪島	25.1	+1.6	25.7（2023）	1929	23.5
		相川	24.7	+1.5	25.6（2023）	1911	23.2
		金沢	26.7	+1.8	27.1（2023）	1882	24.9
		伏木	25.9	+1.7	26.4（2023）	1884	24.2
		富山	26.5	+1.9	27.0（2023）	1939	24.6
		高田	25.6	+1.5	26.2（2023）	1922	24.1
		福井	26.8	+1.6	27.0（2023）	1897	25.2

		敦賀	26.7	+1.3	26.9 (2023)	1898	25.4
	3	新潟	25.5	+1.4	26.4 (2023)	1881	24.1
9-11	1	輪島	18.2	+1.8	18.0 (2023)	1930	16.4
		新潟	18.4	+1.8	18.2 (2023)	1882	16.6
		金沢	19.6	+2.1	19.2 (2023)	1883	17.5
		伏木	19.1	+2.1	18.3 (2023)	1885	17.0
		富山	19.2	+2.2	18.4 (2023)	1940	17.0
		高田	18.5	+2.1	17.8 (2023)	1923	16.4
		福井	19.8	+2.6	18.6 (2023)	1898	17.2
		敦賀	20.7	+2.5	19.5 (2023)	1898	18.2
	2	相川	18.5	+1.3	18.8 (2023)	1912	17.2

3 か月間の降水量多い方からの順位更新

月	順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
3-5	1	富山	631.0	150	603.5 (2006)	1939	422.0
9-11	1	輪島	1277.5	207	1134.5 (2013)	1930	617.1
	3	相川	683.5	160	727.5 (1945)	1912	427.7

表 4 2024年の月別で順位を更新した記録(3位以内) 注) =はタイ記録を示す。

月平均気温高い方からの順位更新

月	順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
1	3	相川	5.7	+1.7	6.0 (2020)	1912	4.0
2	1	輪島	5.4 =	+2.0	5.4 (1990)	1930	3.4
	2	相川	5.6 =	+1.6	5.9 (2020)	1912	4.0
		福井	6.1	+2.4	6.4 (1990)	1897	3.7
		敦賀	7.4	+2.3	7.5 (1990)	1898	5.1
	3	金沢	6.2 =	+2.0	6.6 (2021)	1882	4.2
		伏木	5.6	+2.3	5.9 (1990)	1884	3.3
		富山	5.6	+2.2	5.7 (2007)	1939	3.4
4	1	輪島	13.0 =	+1.9	13.0 (1998)	1930	11.1
		金沢	15.1	+2.5	14.7 (2002)	1882	12.6
		高田	13.9 =	+2.2	13.9 (1983)	1922	11.7

		福井	15.8	+3.0	15.4 (1998)	1897	12.8
		敦賀	15.9	+2.5	15.7 (1998)	1898	13.4
	2	相川	13.0 =	+1.9	13.5 (2002)	1911	11.1
		新潟	13.7	+2.4	13.9 (2002)	1882	11.3
		富山	14.3	+2.0	14.4 (2002)	1939	12.3
6	2	輪島	21.7 =	+1.7	21.9 (2023)	1929	20.0
		相川	21.4	+1.6	21.9 (1916)	1911	19.8
		金沢	23.3 =	+1.7	23.4 (2022)	1882	21.6
		富山	23.2	+1.8	23.3 (2022)	1939	21.4
7	2	輪島	26.3	+1.9	26.7 (2018)	1929	24.4
		富山	27.8	+2.3	28.1 (2018)	1939	25.5
	3	金沢	27.9	+2.1	28.3 (2018)	1882	25.8
		高田	26.7 =	+1.7	27.5 (2018)	1922	25.0
		福井	27.8 =	+1.7	28.7 (2018)	1897	26.1
		敦賀	28.1	+1.8	28.8 (2018)	1898	26.3
8	3	金沢	29.0	+1.7	30.5 (2023)	1882	27.3
		福井	29.1 =	+1.7	30.4 (2023)	1897	27.4
9	1	金沢	26.8	+3.6	26.6 (2023)	1882	23.2
		伏木	26.1	+3.4	25.9 (2023)	1884	22.7
		富山	26.2	+3.4	26.0 (2023)	1939	22.8
		高田	25.4	+3.1	25.3 (2023)	1922	22.3
		福井	27.1	+4.0	26.2 (2023)	1897	23.1
		敦賀	27.6	+3.9	26.7 (2023)	1898	23.7
	2	輪島	24.8	+2.8	25.2 (2023)	1929	22.0
	3	新潟	25.0	+2.5	25.8 (2023)	1881	22.5
10	1	輪島	18.2	+1.9	18.1 (1998)	1929	16.3
		相川	18.8	+1.6	18.7 (2013)	1911	17.2
		新潟	18.7	+2.0	18.3 (2013)	1881	16.7
		金沢	19.5	+1.9	19.3 (1998)	1882	17.6
		伏木	19.2	+2.2	18.5 (2013)	1884	17.0
		富山	19.3	+2.3	18.4 (2013)	1939	17.0
		高田	18.5	+2.1	18.1 (1998)	1922	16.4
		福井	19.7	+2.6	18.8 (1998)	1897	17.1
		敦賀	20.6	+2.5	19.7 (1998)	1897	18.1

月降水量多い方からの順位更新

月	順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
3	1	相川	202.0	209	191.0 (1972)	1912	96.6
9	1	輪島	739.5	345	660.5 (1989)	1929	214.5
	2	相川	329.0	235	344.0 (2010)	1911	139.9

月降水量少ない方からの順位更新

月	順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
9	1	福井	43.5	20	60.5 (1995)	1897	212.9
	2	敦賀	49.5	24	37.0 (2019)	1898	204.9

月間日照時間多い方からの順位更新

月	順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	3	福井	93.0	142	103.5 (1909)	1898	65.4
9	3	敦賀	206.2	140	220.7 (1933)	1914	147.6

(注) 1. 平年値とは1991～2020年の30年間の値を平均したものである。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に * を付加した。この場合には以下のように表現できる。

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

3. 値の横に) や] がある場合には使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示す。

) 付きの値は正常の値とみなしますが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。このため、統計日数(統計に用いた品質が十分な日数)を气象台等に確認して、品質を確かめてください。